

図書だより

姿川地域学校園



令和3年度
第3号

進学進級の時期となりました。学校園図書室では新しい扉を開くみなさんの新しい本との出会いを応援しています。



家読（うちどく）のすすめ

家族で本の世界を楽しみましょう♪



「家読（うちどく）」で読みニケーション!

家読（うちどく）って?

学校では授業が始まる前の時間を利用して、全員が好きな本を読む「朝の読書」が定着しています。そこで、「朝の読書」を通して読書が習慣化し、読書の楽しさを知っている子どもたちをお手本にして、今度は家で家族みんなで本を読む新しい読書スタイル「家読（うちどく）」を提唱します。

一緒に本を読んだり、本を読んで“おもしろかった!”という気持ちを家族や身近な人と伝えあうことで、一緒に本の世界を楽しむことです。

ひとりで読んでも楽しいけど、みんなで読むともっと楽しい!

「家読（うちどく）」に難しいきまりはありません。我が家の“家読（うちどく）”スタイルをつくってみませんか?

保護者のみなさまへ

～栃木県教育委員会事務局生涯学習課家読@とちぎより～

小学生、中学生のうちからたくさんの本にふれることは、豊かな感性と表現力を育むことにつながります。

また、本を話題にすることで、家族の会話が広がり、コミュニケーションも深まります。

忙しい日常の中でちょっとひと息、本の時間をつくってみませんか?

家読（うちどく）におすすめの本を紹介します

本の名前 『精霊の守り人』 上橋菜穂子／著

女用心棒のバルサは、王から命を狙われた皇太子チャグムを連れ、城から逃げることに…。

登場人物がいろいろな年代なので、いろいろな

立場で読み入ることができる物語です。ぜひ家族で読んでみてはいかがでしょうか?

みなさんの学校のホームページで、
カラー版や過去のたよりも見るができます!
ぜひ見てみてください!





すきま読書のすすめ

みなさんはいつどんな時に読書を読みますか？本を読む時間がない！という人はぜひ試してみてください！

たとえば、食後の10分

何をするにも「時間がない」という人がたくさんいると思います。でも時間は使い方次第でつくれるのです。たとえば、朝の読書は10分ですね。食後の10分の読書はいかがでしょうか？「食休み」という言葉を知っていますか？食べた後、すぐに動くことは身体によくありません。とても良い時間の使い方だと思いませんか？

たとえば、寝る前の10分

布団に入ってから寝付くまでの10分。ついつい時間を忘れもって読めそうですね。

いつも本を持ち歩く

友だちと待ち合わせや、病院の待合室など、待ち時間の読書もおすすめです。

このほかにも、たくさん読書の時間を見つけることができます。たくさん本を読んで、自分の世界を広げてみませんか？そして、本の世界へ行ってみませんか？

司書おすすめの1冊

オススメの本（下学年向け）

本の名前『このほんよんでくれ！』
著者／ベネディクト・カルボネリ
人間の親子が読んでいる絵本に夢中になるオオカミ。ぐうぜんその本を拾いますが、字が読めなくておはなしの続きがわかりません。「だれか、よんでくれー！」オオカミの願いをかなえてくれたのは、一匹のウサギ。こわがるウサギに「ぜったいに食べない」と約束をしたオオカミですが、ふたりはいったいどうなるのでしょうか？

オススメの本（中学生向け）

本の名前『本屋さんのダイアナ』
著者／柚木 麻子
「大穴（ダイアナ）」という名前、金色に染められたバサバサの髪。自分の全てを否定していた孤独なダイアナに、本の世界と彩子だけが光を与えてくれた。正反対の二人だけど、私たちは一瞬で親友になった。そう、“腹心の友”に――。自分を受け入れた時、初めて自分を好きになれる！ 試練を越えて大人になる二人の少女。最強のダブルヒロイン小説。

オススメの本（上学年向け）

本の名前『十五少年漂流記』
著者／ジュール・ベルヌ
荒れ狂う夜の海、帆を失った船の甲板で必死に舵を取っていたのは、少年たちだった。チェアマン寄宿学校の8歳から14歳の少年と見習い水夫の少年15人がこの船の乗員だ。何とか嵐を乗り越えたどり着いたのは、無人島だった。予期せぬ船出をした彼らの生き抜くための冒険が始まる。

オススメの本（大人向け）

本の名前『あんなにあんなに』
著者／ヨシタケシンスケ
子育ては「あんなに」の連続。あんなにほしがってなのに、あんなにしんぱいしたのに、あんなに小さかったのに――。日常にあふれるたくさんの「あんなに」の中で、子どもは大人になっていく――。大人気の絵本作家・ヨシタケシンスケによる、こどもと昔こどもだったすべての人に届けたい、ちょっと目頭が熱くなっちゃうやさしい絵本。

